

CA Clarity™ PPM

リリース ノート - オンプレミス

リリース 14.1.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けて本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、默示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 新リリースへようこそ	7
トレーニング	7
各国語のサポート	8
公開済みの修正	9
既知の問題および解決された問題	9
解決された問題	9
Java Runtime Environment の問題	9
サポートされているアップグレードパス	9
アドインの互換性	10
CA Clarity PPM ソリューションパック	11
CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 Service Pack 2	12
第 2 章: 新規機能	15
Studio コンテンツ管理	15
Microsoft Project インターフェース	16
VersionOne との統合	16
スマートなセクション	17
Apache Tomcat ログ分析	17
第 3 章: 拡張された機能	19
クロスサイトスクリプティング (XSS) 脆弱性に対するセキュリティ	19
アクションアイテムのローカライゼーション	20
ドキュメント	20
リリースの番号付け	21
付録 A: 互換性	23
CA Clarity PPM サーバ	23
新規インストール	24
コンポーネント	25
統合サーバ	27
クライアント	27
Clarity Mobile Time Manager	30
CA Clarity PPM に含まれる製品	31

変更履歴.....	32
CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点.....	32
CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点.....	33
CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点.....	35
CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点.....	37
CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点.....	39
CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点.....	40
FIPS オペレーティング モード制限	41
IPv6 ネットワーク互換性制限	42
CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7) サポートされている設定.....	45
付録 B: アクセシビリティ機能	49
マウス.....	50
キーボード.....	50
音声.....	51
ユーザのアクセシビリティの設定	52
キーボードショートカット	53
CA Clarity キーボードショートカット (アクション)	53
CA Clarity キーボードショートカット (リスト)	54
期間単位値セルのキーボードショートカット	55
表示.....	56
付録 C: サードパーティソフトウェアに関する通知	57

第1章：新リリースへようこそ

重要: リリース 14.1 とリリース 14.2 は間がほとんどないため、リリース 14.1 に対してはパッチは提供されません。クリティカルな修正が特定された場合は、すべてリリース 14.2 に含まれる予定です。これをリリース 14.1 のパッチとお考えください。リリース 14.2 以外では、リリース 14.1 の修正は提供されません。リリース 14.1 から使用開始することを決定したお客様は、リリース 14.2 を入手できるようになった時点ですぐにリリース 14.2 へのアップグレードを計画してください。パッチは、その後、[CA サポート](#)に掲載される標準の PPM Defect Resolution Policy に基づいて利用可能になります。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [トレーニング \(P. 7\)](#)
- [各国語のサポート \(P. 8\)](#)
- [公開済みの修正 \(P. 9\)](#)
- [既知の問題および解決された問題 \(P. 9\)](#)
- [サポートされているアップグレードパス \(P. 9\)](#)
- [アドインの互換性 \(P. 10\)](#)
- [CA Clarity PPM ソリューションパック \(P. 11\)](#)
- [CA Business Intelligence \(CABI\) リリース 3.3 Service Pack 2 \(P. 12\)](#)

トレーニング

CA Education は CA Clarity PPM についての多くのトレーニングソリューションを提供します。お客様が検討する可能性がある重要な 1 つのコースでは CA Productivity Accelerator (CA PA) について説明します。提供されているトレーニングの詳細については、<http://ca.com/education> の CA Education Web サイトを参照してください。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要なオペレーティングシステムおよびサードパーティ製品のローカル言語バージョンで正常に動作する英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品（ローカライズ済み製品とも言います）とは、製品のユーザインターフェース、オンラインヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

この製品は完全にローカライズされ、日付、時刻、および数値フォーマットに関する 100 以上の地域設定をサポートします。ユーザインターフェースは、以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- カタロニア語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- 中国語（繁体字）
- トルコ語

CA Clarity PPM オンラインヘルプとコンテンツのローカライズバージョンは、製品の一般リリース（General Availability）から 90 日以内に提供されます。

ローカライズされた製品ドキュメントの最新のバージョンは、[CA Support Online の \[ドキュメント\] ページ](#)で入手できます。

公開済みの修正

テクニカルサポートが [CA サポート](#) で提供するソリューションおよびパッチを確認することを推奨します。ユーザはソリューション、パッチ、および製品リリースに必要なすべての前提条件の発行済み修正プログラムを確認できます。

既知の問題および解決された問題

既知の問題はナレッジベース記事として扱われます。既知の問題を検索するには、[CA Clarity PPM Support by Product ページ](#)に移動し、「ナレッジベース」タブをクリックして、検索用語として *clarity13open* または *clarity14open* を入力します。

解決された問題

解決された問題については、CA Support Online の[解決された問題のページ](#)を参照してください。

Java Runtime Environment の問題

Java Runtime Environment (JRE) は、CA Clarity PPM のリリース時には不明である問題を含めて、セキュリティに関する問題を解決するために頻繁に更新されます。最新の修正を反映するには、最新の JDK バージョン 7 をダウンロードすることを推奨します。

サポートされているアップグレードパス

サポートされているアップグレードパスの詳細については、「変更の影響とアップグレードガイド」および「インストールガイド」を参照してください。

アドインの互換性

以下のセクションでは、インストールされたアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのアップグレードに関する重要な情報について説明します。

- バージョン 13.0、13.1、13.2、または 13.3 から リリース 14.1 にアップグレードする場合には、以下のアドインがアップグレードされます。
 - PMO アクセラレータ
 - Clarity ソリューションパック (CSP)
 - CA Clarity Agile
- バージョン 13.0 より前のいずれかのバージョンからリリース 14.1 にアップグレードする場合は、インストールされているアドインをすべてアップグレードしてください。
- バージョン 13.3 以降では、アドイン、アクセラレータ、およびコネクタについて、新しいインストールプロセスが必要です。

注: 詳細については、「インストールガイド」を参照してください。

以下の表に、リリース 14.1 と互換性のあるアクセラレータおよびコネクタのリリースを示します。

アクセラレータまたはコネクタ	新しいインストール環境 14.1	12.x から 14.1 へのアップグレード	13.x から 14.1 へ のアップグレード
PMO アクセラレータ	14.1.0	14.1.0	14.1.0
Clarity ソリューションパック (CSP)	14.1.0	14.1.0	14.1.0
アーンドバリューマネージャ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
PRINCE2 用アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
PMBOK 用アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
新製品開発用アクセラレータ	2.0.3	2.0.3	2.0.3
PPM Essentials アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
BRM アクセラレータ	3.0.2	3.0.2	3.0.2
CA Unicenter Service Desk 12.7 & CA Software Change Manager™ 12.1.0.3 用コネクタ	2.0.1	2.0.1	2.0.1

アクセラレータまたはコネクタ	新しいインストール環境 14.1	12.x から 14.1 へのアップグレード	13.x から 14.1 へ のアップグレード
CA Unicenter Asset Portfolio Management 11.3.4 用コネクタ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
Microsoft SharePoint 2013 用コネクタ	3.0.0	3.0.0	3.0.0
サービス接続	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Catalyst コネクタ	2.5.0	2.5.0	2.5.0
CA Clarity Agile	14.1.0	14.1.0	14.1.0
VersionOne コネクタ	14.1.0	14.1.0	14.1.0

CA Clarity PPM ソリューション パック

CA Clarity PPM ソリューションパックは、PMO アクセラレータおよび顧客フィードバックで提供されたコンテンツに基づくアドインです。ソリューションパックは、PMO アクセラレータアドインと組み合わせて使用される、Xcelsius ダッシュボードおよび SAP Crystal レポートのコレクションです。

CA Clarity PPM ソリューションパック アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM および PMO アクセラレータの互換性のあるバージョンがインストールされていることを確認してください。ソリューションパックをインストールする前に、PMO アクセラレータアドインの互換性のあるバージョンをインストールしていないと、CA Clarity PPM ソリューションパックのインストールは失敗します。

[CA Support Online のソリューションパックの索引ページ](#)（ログインが必要）で、ソリューションパックのリリースノート、製品ガイド、概要ガイド、ならびにダッシュボードおよびレポートのソースファイルを見つけることができます。

重要: CA Clarity PPM と PMO アクセラレータのアップグレードが必須かどうかを判断するには、CA Clarity PPM ソリューションパックリリースノートの認定およびサポートされているバージョンのチャートを確認してください。

CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 Service Pack 2

CA Clarity PPM のこのリリースは CABI リリース 3.3 Service Pack 2 をレポートに使用します。

CABI をインストールしていない場合、またはより古いバージョンがある場合、2つの手順を完了してください。まず、CABI 3.3 をダウンロードしてインストールします。次に、Service Pack 2 をダウンロードしてインストールします。

すでに CABI リリース 3.3 をインストールをしている場合は、Service Pack 2 (以下の手順のステップ 2 のみを実行) のダウンロードとインストールのみを行います。

以下の手順に従います。

1. 以下の手順を実行して、CABI リリース 3.3 をダウンロードし、インストールします。

注: この手順は新しいカスタマ向けか、または古いバージョンの CABI を持っているカスタマのアップグレード用です。

- a. [CA Support Online の CA Clarity PPM サポート ページ](#)にログインします。
- b. [Quick Access] セクションで、[Download Center] をクリックします。
- c. [Select a Product] フィールドで、ライセンスが提供されている製品（例：CA Clarity PPM Core ライセンス）を選択します。
- d. [Please narrow your search results for "Products" below] セクションで、適切なリリース番号を選択します。
- e. [実行] をクリックします。
- f. インストール用の適切な CA Business Intelligence 3.3 ダウンロードの隣の [ダウンロード] リンクをクリックします。
- g. ダウンロードリクエストを完了するための適切なダウンロード方法を選択します。
- h. CABI リリース 3.3 をインストールします。

2. Service Pack 2 をダウンロードして、インストールしている CABI リリース 3.3 にインストールします。

- a. CA FTP サイトから CABI リリース 3.3 Service Pack 2 およびリリースノートをダウンロードします。

Windows の場合。

ftp://ftp.ca.com/caproducts/CABI/CABI-3.x/boeXIR3_SP7/Windows/

注: ZIP ファイルと *CABI 3.3 SP2 リリースノート* の両方をダウンロードします。

Linux の場合 :

ftp://ftp.ca.com/caproducts/CABI/CABI-3.x/boeXIR3_SP7/Linux/

- b. *CABI 3.3 SP2 リリースノート* の手順に従って、Service Pack 2 を CABI リリース 3.3 のインスタンスにインストールします。

第 2 章: 新規機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Studio コンテンツ管理 \(P. 15\)](#)

[Microsoft Project インターフェース \(P. 16\)](#)

[VersionOne との統合 \(P. 16\)](#)

[スマートなセクション \(P. 17\)](#)

[Apache Tomcat ログ分析 \(P. 17\)](#)

Studio コンテンツ管理

コンテンツ パッケージ内の特定の Studio コンテンツを収集できます。コンテンツ パッケージは、開発、テスト、および実稼働システム間で、コンテンツを識別、組み立て、エクスポート、展開するのに役立ちます。また、コンテンツ パッケージを使用して、外部サードパーティに配布することもできます。コンテンツ パッケージにより、Studio コンテンツのインポートとエクスポートが簡単になります。受信者はお客様が作成したコンテンツを環境内のアドインとしてインポートし、そのコンテンツを使用できます。たとえば、一連のページ、ポートレット、およびクエリを開発できます。また、内部のユーザや外部の顧客にそれらを提供できます。

コンテンツ パッケージをエクスポートすると、アプリケーションはパッケージ内に XML ファイルを作成します。そのパッケージを、インポートの対象システムに移動できます。Studio コンテンツ管理では、XML や XOG の知識は不要です。使いやすいインターフェースが用意されているため、Studio コンテンツをパッケージングして、ダウンロードし、CA Clarity PPM インスタンス間でインポートすることができます。開発者は、コンテンツ項目を設計し、エクスポート用にそれらをパッケージングし、別の環境で再インポートできます。

また、内部で開発された Studio コンテンツ パッケージやサードパーティが開発した Studio コンテンツ パッケージをインポートすることもできます。Studio コンテンツ パッケージは、アプリケーションの機能を拡張します。

注: Studio コンテンツ管理および必要なアクセス権の詳細については、「[Studio 開発者ガイド](#)」を参照してください。

Microsoft Project インターフェース

新しい Microsoft Project インターフェース (XML ベース) は、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェースのインストール中に選択できます。また、新しいインターフェースにアップグレードする準備ができていないお客様は、既存のレガシーインターフェースを利用することもできます。インターフェースの両方のバージョンは、32 ビットと 64 ビットの両方の Microsoft Project インストール環境で利用可能です。

VersionOne との統合

VersionOne コネクタをインストールして、CA Clarity PPM プロジェクトを VersionOne と統合してください。VersionOne は、機敏なプロジェクトプランニングアプリケーションです。この統合により、CA Clarity PPM プロジェクトマネージャは、機敏なプロジェクトをほぼリアルタイムで観察できます。また、2 回の入力が必要なくなります。プロジェクトマネージャは以下のタスクを効率的に完了できます。

- CA Clarity PPM でプロジェクトを作成し、VersionOne 内で機敏なメトリックを使用して、イニシアチブ エピックとしてそれらを追跡する。
- VersionOne に作業項目（ストーリー、不具合、タスク、またはテスト）を作成し、プロジェクト WBS として CA Clarity PPM でそれらを表示する。
- 作業項目に対して VersionOne に工数を入力し、CA Clarity PPM タイムシートでそれらを表示する。

注: VersionOne コネクタのインストールの詳細については、「インストールガイド」を参照してください。

スマートなセクション

多くのセクションおよびフィールドを含むページの管理が容易になりました。セクションヘッダバーはスイッチボタンの役割を果たします。また、この機能は、エラーを含むセクションを迅速かつ容易に特定するのにも役立ちます。

以下の変更が、ページセクションの動作方法を向上させています。

- ページのセクションをすべて開くか閉じるには、任意のセクションヘッダバーをダブルクリックします。
- 1つのセクションを開いたり閉じたりするには、セクションヘッダバーを1回クリックします。
- エラーがあるセクションのヘッダバーは、保存時に強調表示されます。セクションがすべて折りたたまれている場合は、最初に強調表示されたセクションが展開され、ユーザが修正できます。強調表示された残りのセクションで修正を行う場合は、セクションヘッダバーをクリックしてセクションを開きます。
- 必須フィールドが含まれているセクションでは、ヘッダバーに[必須]アイコンが表示されます。この表示によって、折りたたまれたセクションで、どのセクションに必須フィールドがあるかを確認できます。

注: 期間単位値はセクションと似ていますが、本当のセクションでなく、これらの変更には含まれていません。スマートセクションは、[ホーム]、[レポート]、[ジョブ]ページ、[管理]、[一般設定]、[システムオプション]ページ、ポップアップダイアログボックスには適用されません。また、ブラウザを切り替えると、スマートセクションの状態は持続しません。

Apache Tomcat ログ分析

Tomcat アクセスログのインポート/分析ジョブおよびログ分析データの削除ジョブが追加されました。これらのジョブは、Apache Tomcat 環境におけるパフォーマンスの分析に使用できるデータを作成および管理します。システムパフォーマンスに関する詳細を提供するために、カスタムポートレット、クエリ、または外部的に利用可能なコンテンツを追加できます。ジョブは Tomcat 以外のアプリケーションサーバに対して実行されますが、データは作成されません。

第3章：拡張された機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[クロスサイトスクリプティング \(XSS\) 脆弱性に対するセキュリティ \(P. 19\)](#)

[アクションアイテムのローカライゼーション \(P. 20\)](#)

[ドキュメント \(P. 20\)](#)

[リリースの番号付け \(P. 21\)](#)

クロスサイトスクリプティング (XSS) 脆弱性に対するセキュリティ

クロスサイトスクリプティング (XSS) 攻撃は、有害なスクリプトが埋め込まれない場合は信頼される Web サイトに有害なスクリプトを埋め込みます。XSS アタッカーは、Web アプリケーションを使用して、通常は、ブラウザ側のスクリプトの形式で、有害なコードをエンドユーザーに送信します。これらの攻撃は、Web アプリケーションの生成する出力に、Web アプリケーションによる事前の検証や入力データのエンコーディングなしに、ユーザ入力データが含まれる場合に成功します。

ユーザのブラウザは、スクリプトが有害であることを認識しないまま、スクリプトを実行します。ブラウザはスクリプトが信頼されたソースからのものと判断するので、有害なスクリプトは Cookie や、セッショントークン、その他の機密情報にアクセスできます。これらのスクリプトは、さらに HTML ページのコンテンツを書き換えることもあります。

XSS 脆弱性に対応するには、ブラウザに送り返されるユーザによる入力がすべて安全であることを（入力検証によって）確認する必要があります。また、出力ページに含まれる前に、ユーザ入力を正しくエスケープする必要があります。出力を適切にエンコーディングすれば、ユーザ入力は、ブラウザ内で、常に実行可能なアクティブなコンテンツではなくテキストとして扱われます。

CA Clarity PPM は、このリリースで、XSS 対応するためにユーザ入力検証を実行します。また、このリリースは、ユーザによる XSS 規制（エスケープ）のオンとオフの切り替えを可能にする新しい管理オプションを提供します。これらの管理オプションの使用については、「インストールガイド」を参照してください。

アクション アイテムのローカライゼーション

CA Clarity PPM 管理者は、プロセスに関連付けられているアクションアイテム名と説明を、サポートされているすべての言語に変換できるようになります。別の言語で作業するユーザにアクションアイテムを送信すると、ユーザは自分の言語でアクションアイテム名と説明を確認します。

プロセス ページの [Action Item Name] フィールドの横に翻訳アイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、ダイアログ ボックスが表示され、[Action Item Name] フィールドと [説明] フィールド用の別の言語翻訳を指定できます。

注: アクションアイテム翻訳アイコンは、管理ツールとしての使用が意図されており、プロセスに関連するアクションアイテムに対してのみ表示されます。アイコンは、エンドユーザが [ホーム] メニューから実行するアクションアイテム操作には利用できません。

ドキュメント

このリリース用に CA Clarity PPM ドキュメントが改良され、以下のような変更が行われました。

- **Microsoft Project インターフェース。** 「プロジェクト管理ユーザガイド」および「インストールガイド」が、Microsoft Project インターフェースに関する以下の情報を含めるために更新されました。
 - Microsoft Project インターフェースをインストールおよび使用するためのアクティビティのフローが改善されました。
 - 顧客の問題およびリクエストに対する応答。
- **変更の影響とアップグレード。** 「変更の影響とアップグレードガイド」が更新され、以前のリリースに関する情報が含まれるようになりました。この変更は、以前のリリースに関するアップグレード情報の検索を容易にするために加えられました。ガイドには、14.1 およびすべての 13.x リリースに関する関連情報が含まれるようになりました。

リリースの番号付け

CA Clarity PPM では、今回のリリースから、リリース番号付けの新しい方が採用されます。リリース番号は、その年の暦年およびその年におけるリリースの順番を反映するようになります。たとえば、暦年 2016 年に 2 回のリリースが行われている場合、リリースには 16.1 および 16.2 の番号が付けられます。

この方式の利点は、あるバージョンがいつ配布されて使用できるようになったのかを、リリース番号自体から把握できるということです。

付録 A: 互換性

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [CA Clarity PPM サーバ \(P. 23\)](#)
- [統合サーバ \(P. 27\)](#)
- [クライアント \(P. 27\)](#)
- [Clarity Mobile Time Manager \(P. 30\)](#)
- [CA Clarity PPM に含まれる製品 \(P. 31\)](#)
- [変更履歴 \(P. 32\)](#)
- [FIPS オペレーティング モード制限 \(P. 41\)](#)
- [IPv6 ネットワーク互換性制限 \(P. 42\)](#)
- [CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 - \(SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7\) サポートされている設定 \(P. 45\)](#)

CA Clarity PPM サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM サーバソフトウェア（アプリケーションおよびバックグラウンドサーバ）を実行するサーバ用にサポートされているプラットフォームを示します。

この付録に記載された製品の一部は CA Clarity PPM に付属していないため、ユーザが購入する必要があります。CA Clarity PPM に付属しているソフトウェアの詳細については、「[CA Clarity PPM に含まれる製品 \(P. 31\)](#)」を参照してください。詳細については、使用許諾契約を参照してください。

新規インストール

	Microsoft Windows	Linux	IBM AIX
オペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2008 R2 SP1 64 ビット (Standard、Enterprise Edition) ■ Windows Server 2008 SP2 64 ビット (Standard、Enterprise Edition) ■ Windows Server 2012 64 ビット (Standard Edition) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Linux 5.10 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービスパックリリース²⁾ ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービスパックリリース²⁾ ■ Oracle Enterprise Linux Server 6u2 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース³⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX 7.1 : TL2 : すべての保守リリース³⁾ ■ AIX 6.1 : TL8 : すべての保守リリース³⁾

メモ:

- ¹⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているオペレーティングシステムのすべてのローカライズバージョンでサポートされています。
- ²⁾ Microsoft SQL Server データベースに接続している OEL 上の CA Clarity PPM は、現在サポートされていません。
- ³⁾ AIX に対するサポートは、CA Clarity PPM リリース 16.1 (暦年 2016 年の最初のリリース) で終了します。

コンポーネント

仮想化	「CA Support Statement for Virtualization」を参照してください。 CA Support Online にログインし、[CA Clarity Project & Portfolio Manager Support] ページに移り、[Product Status] コンテンツ タイプに移動し、[CA Clarity Project and Portfolio Manager Compatibility Information] を選択し、[Virtualization Support information] リンクをクリックします。
データベース ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.3.x またはそれ以上のパッチ レベル^{4a, 4b)} ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.4.x またはそれ以上のパッチ レベル^{4a, 4b)} ■ Microsoft SQL Server 2008 R2 Enterprise Edition : すべてのサービス パック^{4c, 4d)} ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition : すべてのサービス パック
データベースインターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle および SQL Server (CA Clarity PPM 配布に含まれる) 用の CA Clarity PPM DataDirect Type 5 (v5.1.1) ドライバ。
Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 55 (64 ビット) またはそれ以上のパッチ レベル^{5, 6)} ■ IBM Java 7 (64 ビット) : 7.0.0.100 (SR5) またはそれ以上のパッチ レベル^{5, 6)}
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache Tomcat 7.0.52 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) ■ IBM WebSphere Application Server v8.5.5^{6a, 7)}
レポートサーバ	CA Business Intelligence™ リリース 3.3 SP2 (BOXI 3.1 SP 7)。 詳細については、 CA Business Intelligence リリース 3.3 (P. 45) を参照してください。
メールサーバ	すべての SMTP/IMAPI/POP3 メールサーバを使用できます。 CA Clarity PPM は、いかなるベンダーも明示的にはサポートしていません。

メモ:

- ⁴⁾ データベースはベンダーにサポートされるすべてのオペレーティングシステム上で実行できます。実稼働データベースはソフトウェアに仮想化されたオペレーティングシステムでサポートされていません。この例には、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、およびCitrix XenServer が含まれます。AIX LPARS、HP-UX VPARS、およびSolaris コンテナはこのカテゴリに分類されず、引き続きサポートされます。また、パフォーマンスや並行処理のテストのためのダウンストリーム環境が、実稼働で使用されるものと一致することを推奨します。
- ^{a)} Oracle Real Application Cluster (RAC) はサポートされています。
- ^{b)} ここで、(x) はサポートされるパッチ レベルを表します (たとえば、11.2.0.5 は新しいリリースで、本質的にサポートされていません)。
- ^{c)} SQL Server の名前付きインスタンスはサポートされています。SQL Server クラスタリングは、失敗したバックグラウンドプロセスの再起動にデータベースが失敗した後で、手動での介在によってサポートされます。
- ^{d)} 5000 人のユーザを超えて展開する Microsoft SQL Server 展開は、CA Technologies によって承認される必要があります。承認されない場合は、Microsoft SQL Server に関する拡張性の制限、および CA Clarity PPM のような OLTP (オンライントランザクション処理) 製品の処理方法により、Oracle が要件となります。
- ⁵⁾ 最新のパッチ レベルを実行することをお勧めします。
- ⁶⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているアプリケーションサーバーのすべてのローカライズバージョンでサポートされています。
 - ^{a)} WebSphere は AIX OS でのみサポートされています。
- ⁷⁾ WebSphere に対するサポートは、CA Clarity PPM リリース 16.1 (暦年 2016 年の最初のリリース) で終了します。

統合サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM と統合しているサーバ用にサポートされるソフトウェアを示します。

シングルサイ ンオンサーバ	CA SiteMinder 12.0 SP3 および CA SiteMinder 12.51 CR1
LDAP Server	すべての LDAP v3 準拠ディレクトリ サーバ (CA Directory、Microsoft Active Directory、Novell eDirectory、Oracle Directory Server、Sun One Directory など) をサポートします。
Microsoft Project サーバ	SharePoint Server 2010 SP2 ⁸⁾ 、2013 (64 ビット)、Enterprise Edition ⁹⁾

メモ:

- ⁸⁾ MS SharePoint Server 2010 SP2 用の CA Clarity PPM SharePoint 2010 Connector Setup バージョン 2.0.2
- ⁹⁾ MS SharePoint Server 2013 用の CA Clarity PPM SharePoint 2013 Connector Setup バージョン 3.0

クライアント

以下の表に、CA Clarity PPM にアクセスするクライアントコンピュータ用にサポートされているソフトウェアを示します。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows XP Professional : SP3 以上 ■ Microsoft Windows 7 SP1 32 ビットおよび 64 ビット、全エディション ■ Microsoft Windows 8.1、32 ビットおよび 64 ビット 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Mac OS X: リリー ス 10.9.1 または それ以上のパッ チ レベル 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「Web ブラウザ」 セクションにリ ストされている ブラウザをサ ポートするすべ てのベンダーま たはバージョン。

クライアント

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Internet Explorer 10.0 および 11.0 ならびにそれ以上のパッチ レベル (Microsoft Windows 7 および 8.1)¹⁷⁾■ Microsoft Internet Explorer 9.0 およびそれ以上のパッチ レベル■ Microsoft Internet Explorer 8.0 およびそれ以上のパッチ レベル¹²⁾■ Firefox 30.0 およびそれ以上のリリース¹¹⁾■ Firefox ESR 24.2.0 およびそれ以上のパッチ レベル¹¹⁾■ Google Chrome 35 またはそれ以上のリリース レベル¹¹⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Safari 7.0 およびそれ以上のパッチ レベル■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース¹¹⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース¹¹⁾

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
クライアントアプリケーション ¹⁰⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Excel 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション。 ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション。 ■ Microsoft Project 2010 SP2 および 2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション ■ Java 7 Runtime Environment: 1.7 update 45 またはそれ以上のアップデート レベル¹³⁾ ■ Adobe Flash Player 11.9 またはそれ以上¹⁴⁾ ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上¹⁵⁾ ■ CA Open Workbench 2.1.2 ■ Crystal Reports 2008 Designer Client SP5¹⁶⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Office Excel 2011 ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上¹⁴⁾ ■ Mac OS Preview PDF ビューア¹⁵⁾ ■ Microsoft Project へのサポートなし ■ CA Open Workbench へのサポートなし ■ Crystal Reports Designer へのサポートなし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上¹⁵⁾ ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上¹⁴⁾ ■ Excel エクスポートへのサポートなし ■ Microsoft Project へのサポートなし ■ CA Open Workbench へのサポートなし ■ Crystal Reports Designer へのサポートなし
サードパーティ SOAP 統合ツールキット	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Visual Studio 2013 (.NET Framework 4.5.1) ■ Apache AXIS 1.6 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.6 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.6

メモ:

- ¹⁰⁾ 複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。

- ¹¹⁾ Firefox および Chrome の新しいリリースは、リリース後の最小限のテストだけでサポートされている場合があります。
- ¹²⁾ IE 8.0 およびその関連パッチに対するサポートは、リリース 15.1 で終了します。
- ¹³⁾ Open Workbench、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェース、および XOG クライアントに必要。
- ¹⁴⁾ Xcelsius ダッシュボード表示用。
- ¹⁵⁾ CA Clarity PPM インストールガイド、技術マニュアル、ユーザガイド、およびオンライン レポートを読むために必要です。
- ¹⁶⁾ カスタム レポート開発にのみ必要。
- ¹⁷⁾ CA Clarity PPM と組み合わせて Internet Explorer 11 を使用している場合、CA Clarity PPM セッションについて Internet Explorer 10 互換モードで実行されるように、ブラウザが自動的に設定されます。この設定は CA Clarity PPM セッションのみを対象にしており、他の Internet Explorer 11 ブラウザ アクティビティには影響しません。

Clarity Mobile Time Manager

以下の表に、Clarity Mobile Time Manager アプリケーションに対してサポートされているモバイル オペレーティング システム プラットフォームを示します。

	iOS	Android
モバイル オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">■ Apple iOS 7.0 またはそれ以上	<ul style="list-style-type: none">■ Google Android OS 4.0 またはそれ以上

CA Clarity PPM に含まれる製品

以下の表に、CA Clarity PPM に付属するライセンスされたサードパーティソフトウェアを示します。以下のソフトウェアは、すべて CA Clarity PPM のインストールメディアに含まれています。

コンポーネント	メモ
Java Runtime	サポートされているすべてのオペレーティングシステム用の JDK インストーラ。
アプリケーションサーバ	サポートされているすべてのオペレーティングシステム用 Apache Tomcat。
レポートサーバ	CA Business Intelligence リリース 3.3 Service Pack 2
クライアントアプリケーション	Xcelsius Designer 2008 Service Pack 6、Fix Pack 3 Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5

注:

- IBM WebSphere は、CA Clarity PPM には付属していません。Tomcat 上でこのサーバを使用するには、CA Clarity PPM からは独立したライセンスを購入する必要があります。

変更履歴

CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">■ Windows Server 2012 64 ビット (Standard) のサポートを追加しました■ Red Hat Enterprise Linux 5.10 64 ビットのサポート (リリース 5.5 ~ 5.10 のサポート) を追加しました■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 のサポート (リリース 6.0 ~ 6.4 のサポート) を追加しました■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 64 ビットのサポートを追加しました■ Windows 8.1 のサポートを追加しました■ Solaris のサポートを終了しました■ HP UX のサポートを終了しました■ Mac OS X、リリース 10.9.1 のサポートを更新しました
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none">■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 55 (64 ビット) のサポートを追加しました■ HP JDK 7 (64 ビット) : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベルのサポートを終了しました
含まれる製品	<ul style="list-style-type: none">■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 を追加しました■ Xcelsius 2008、SP6、Fix Pack 3 を更新しました
モバイル オペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Apple iOS 6 のサポートを終了しました
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition、バージョン 11.2.0.2x またはそれ以上のパッチ レベルのサポートを終了しました。■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition、バージョン 11.2.0.4x またはそれ以上のパッチ レベルのサポートを追加しました■ MS SQL Server 2008 をサポートしていません。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Apache Tomcat 7.0.50 のサポートを更新しました。■ Oracle Weblogic Server 12.1.1 のサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> CA Business Intelligence r3.3 SP2 (BOXI 3.1 SP7) のサポートを更新しました。
クライアントブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> Firefox、Chrome および Safari ブラウザの新リリースのサポートを更新しました。
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> 変更はありません
統合サーバ	<ul style="list-style-type: none"> CA SiteMinder 12.5 cr01 のサポートを追加しました。

CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2008 SP2 64 ビット (Standard、Enterprise) のサポートを追加しました Red Hat Enterprise Linux 5.95 64 ビットのサポート、つまりリリース 5.5 ~ 5.9 のサポートを追加しました Red Hat Enterprise Linux 6.4 のサポート、つまりリリース 6.0 ~ 6.4 のサポートを追加しました SUSE Linux Enterprise Server 11 SP2 64 ビットのサポートを追加しました Oracle Enterprise Linux Server 6.46u2 64 ビット、つまりリリース 6.2 ~ 6.4 のサポートを追加しました AIX 6.1、TL82 のサポートを追加しました AIX 7.1、TL20 のサポートを追加しました Mac OS X、リリース 10.8.4 のサポートを追加しました
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> Oracle Java SE JDK 1.7 update 25 (64 ビット) のサポートを追加しました IBM Java バージョンを 7.0.0.100 (SR5) に更新しました
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> Apple iOS 6.1.4 および iOS 7 のサポートを追加しました Google Android OS 4.2.2 (Jelly Bean) のサポートを追加しました
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none"> 変更はありません

変更履歴

コンポーネント	説明
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Apache Tomcat 7.0.33 のサポートを終了しました■ Apache Tomcat 7.0.40 のサポートを追加しました■ IBM WebSphere Application Server 8.5.5 のサポートを追加しました
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none">■ CA Business Intelligence r3.3 のサポートを終了しました■ CA Business Intelligence r3.3 SP1 (BOXI 3.1 SP6) のサポートを追加しました。
クライアントブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Windows 用の Firefox 19.0.2 22 のサポートを追加しました■ Microsoft Windows 用の Google Chrome 31.x.x.x のサポートを追加しました。また、バージョン 29、30、および 31 での既知の問題に関する脚注を追加しました■ Apple Mac OS 用の Safari 6.0.52 のサポートを追加しました■ Adobe Flash Player バージョン 11 のサポートを追加しました
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Project 2007 のサポートを終了しました■ CA Open Workbench 2.1.1 のサポートを追加しました■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを終了しました
データベース	<ul style="list-style-type: none">■ 変更はありません
統合サーバ	<ul style="list-style-type: none">■ SharePoint Server 2013 のサポートを追加しました■ SharePoint Connector 2.0.3 を追加しました■ 脚注「CA SiteMinder 12.0 SP3 が認定されました。さらに、SiteMinder 12.51 CR1 がサポートされました。」を追加しました

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows XP : SP3 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows XP : SP2 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows 8、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 (R2 以外) のサポートを終了しました。 ■ Mac OS X 10.8.2 のサポートを追加しました。 ■ Mac OS X 10.4 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Enterprise Linux 6u2 のサポートを追加しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Java JDK 1.7 update 21 およびそれ以上のサポートを追加しました。
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6.0 およびそれ以上のサポートを追加しました。 ■ Google Android 4.0 (Ice Cream Sandwich) およびそれ以上のサポートを追加しました。
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2.0.3 Standard Edition および Enterprise Edition のサポートを追加しました。 ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition のサポートを追加しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.33 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変更はありません。

変更履歴

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">■ Firefox 19.0.2 のサポートを追加しました。■ Firefox ESR 17.0.4 のサポートを追加しました。■ Firefox ESR 10.0.5 のサポートを終了しました。■ Microsoft Internet Explorer 10 (Windows 8 のみ) のサポートを追加しました。■ Chrome 25.0.1364.172m のサポートを追加しました。■ Apple Safari 6.0.2 (Mac OSX 10.8.2 またはそれ以上で使用) のサポートを追加しました。
クライアント アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none">■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 6 のサポートを追加しました。■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを終了しました。■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを追加しました。■ CA Open Workbench 2.0 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none">■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。
統合サーバ	<ul style="list-style-type: none">■ Sharepoint コネクタ 2.0.2 のサポートを追加しました。

メモ:

- ¹⁾ このサポートの対象は Clarity Mobile Time Management アプリケーションのみです。

CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ OEL Server 6u2 のサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 5.5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Standard Edition または Enterprise Edition のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2003 64 ビット Standard Edition または Enterprise Edition (Service Pack 2 まで) のサポートを終了しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 Service Pack 4 64 ビット (x86 チップセット) のサポートを追加しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Windows Server 2008、SP2 のサポートを追加しました。 ■ AIX 7.1 : すべての保守リリースのサポートを追加しました。 ■ AIX 5.3 : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Vista Service Pack 2 : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows 7 Service Pack 1、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7.0_4 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK v7 : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK 6 : 6.0.05 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM Java 7.0.0 64 ビット : SR10 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM Java 6 64 ビット : SR6 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ Sun J2SDK 1.6.0 : バージョン 1.6.0_20 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.35 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Weblogic Server 12.1.1 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Oracle WebLogic Server 10.3 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 8.5 (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 7.0.0.7 (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence リリース 3.3 (BOXI 3.1 Service Pack 5) のサポートを追加しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.2 (BOXI 3.1 Service Pack 3) のサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox ESR 10.0.5 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 13.0 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Chrome 18.0.1.25.152m 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。
クライアント アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Xcelcius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Xcelcius Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。 ■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 10.0 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 3.6 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。
アプリケー ション サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0.35 のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.26 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点

コンポーネント	説明
サーバ オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">■ CA Technologies は、Solaris および HP-UX での既存のインストールに対してアップグレードを実施する顧客にのみサポートを提供します。■ SUSE Enterprise Linux 11 のサポートを追加しました。■ RHEL 6.0 のサポートを追加しました。■ 32 ビット オペレーティング システムを中止しました。
サーバ DB	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft SQL Server 2008 R2 を追加しました。■ Microsoft SQL Server 2005 のサポートを中止しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none">■ 32 ビットのサポートを中止しました。
アプリケーション サーバ	<ul style="list-style-type: none">■ 32 ビットのサポートを中止しました。
レポート サーバ	<ul style="list-style-type: none">■ CA Business Intelligence リリース 3.2 のサポートを追加しました。■ Actuate のサポートを終了しました。■ CA Business Intelligence リリース 3.0 のサポートを終了しました。
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ Firefox 8.0 のサポートを追加しました。■ Safari 5.1.1 のサポートを追加しました。■ IE 9.0 のサポートを追加しました。■ IE6 および IE7 のサポートを中止しました。
クライアント アプリケーション	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Project 2000、2002 および 2003 のサポートを中止しました。■ Crystal Reports デザイナ 2008 のサポートを、SP3 またはそれ以上（サービス パックではなく）と定義しました。
SharePoint Server	<ul style="list-style-type: none">■ SharePoint Server 2010 のサポートを追加しました。■ SharePoint Server 2007 のサポートを中止しました。

FIPS オペレーティング モード制限

すべての CA Clarity PPM プラットフォームが、FIPS 140-2 認定用に RSA BSAFE Crypto-J をサポートするとは限りません。以下の表に、RSA によって文書化された互換性のあるプラットフォームおよびオペレーティングシステムを示します。ほかのプラットフォームが正しく機能する場合がありますが、CA Technologies はここにリスト表示されているプラットフォーム以外での Crypto-J のサポートを確認できません。

プラットフォーム	オペレーティング システム	ビット数	リリース
Microsoft Windows	2008 R2 Server	64	Oracle JDK 1.7 update 55
Red Hat Linux	Advanced Server 6.0	64	Oracle JDK 1.7 update 55
IBM AIX	AIX 6.1	64	IBM Java 7 (64 ビット)

メモ:

- <JAVA_HOME>/jre/lib/security 以下の java.security ファイルに、すべてのセキュリティプロバイダがその優先順位と共にリスト表示されます。CA Clarity PPM は、自動的にプロバイダリストで Crypto-J プロバイダを SunJCE プロバイダの位置より上に配置します。CA Clarity PPM で Crypto-J プロバイダを使用するには、次のように明示的に、最初のインデックス位置のセキュリティプロバイダエンタリを設定する必要があります： security.provider.1=com.sun.crypto.provider.SunJCE。これに応じて、他の位置のインデックス番号を調整する必要があります。SunJCE セキュリティプロバイダが最初のセキュリティプロバイダであることを確認します。
- AIX で IBM FIPS プロバイダを使用している場合は、上記で述べた変更を加える必要はありません。AIX は、FIPS モード用に IBM FIPS プロバイダを使用しています。

IPv6 ネットワーク互換性制限

CA Clarity PPM は、IPv6 ネットワーキング環境での動作を制限付きで認定されています。IPv6 を使用する CA Clarity PPM のその他の設定は動作しますが、認定されていません。IPv6/IPv4 混合環境では、サーバインスタンスは IPv6 および IPv4 のそれぞれに対して設定された、2 つのネットワークインターフェース カードを使用すると想定されています。

Microsoft Windows 設定での Clarity インストール

設定	アプリケーション サーバ用 OS	アプリケーション サーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	ステータス
1	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	IPv6 ミックス モードおよび純正モードでサポートされています。
2	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	純正 IPv6 およびミックス モードでサポートされています。

Microsoft Windows 設定でのメール サーバ

設定	アプリケーション サーバ用 OS	アプリケーション サーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	メール サーバ	ステータス
3	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	MIRAK ⁵⁾ 10.3.1	純正 IPv6 およびミックス モードでサポートされています。

Microsoft Windows 設定での Business Objects Testing CABI 3.3 SP2

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	BO	ステータス
4	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	CABI 3.3 SP2	IPv6 ミックスモードおよび純正モードでサポートされています。
5	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	CABI 3.3 SP2	純正 IPv6 およびミックスモードでサポートされています。

Microsoft Windows 設定での v12.1.1 から v13.3 へのアップグレード

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	ステータス
6	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	ミックスモードでサポートされています。
7	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	ミックスモードでサポートされています。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA
Clarity PPM 設定でのインストール**

設定	アプリケーションサーバ OS	アプリケーションサーバ用 OS	データベース ベース	データベース用 OS	ステータス
8	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	純正 IPv6 およびミックスモードでサポートされています。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA
Clarity PPM 設定でのメールサーバ**

設定	アプリケーションサーバ 用 OS	アプリケーションサーバ OS	データベース ベース	データベース用 OS	メールサーバ	ステータス
9	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	MIRAK 10.3.1 ¹⁾	ミックスモードでサポートされています。

注: ¹⁾ MIRAK はテスト目的で使用されるオープンソースメールサーバです。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA
Clarity PPM 設定での Business Objects Testing CA BI 3.3 SP2**

設定	アプリケーションサーバ 用 OS	アプリケーションサーバ OS	データベース ベース	データベース用 OS	BO	ステータス
10	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows Server 2008 R2 SP1	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	CA BI 3.3 SP2	ミックスモードでサポートされています。

アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA Clarity PPM 設定での v12.1.1 から v13.3 へのアップグレード

設定	アプリケーションサーバ OS	アプリケーションサーバ用 OS	データベー ス	データベース用 OS	ステータス
11	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	ミックス モードでサポートされています。

CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 -(SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7) サポートされている設定

以下の Business Objects 設定は CA Clarity PPM 用にサポートされています。CABI Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 SP 2 の最小ハードウェア要件などの追加情報は、CABI ドキュメントに記載されています。仮想化サポートの詳細については、次の SAP ドキュメントを参照してください：
「Business Objects Support Statement – VMWare ESX Server」。

以下の表にリストされているアプリケーションサーバは、CA Clarity PPM との統合において CABI 3.3 (BOXI リリース 3.1 SP7) に対してテストされた最小限のリリースを示します。以降のリリース（名前に含まれる最後の数字で示される）はサポートされますが、CA Clarity PPM との統合において必ずしもテストされるとは限りません。アプリケーションサーバ JDK も同様です。

注: 以下の表にリスト表示されたアプリケーションサーバのネットワークエディションがある場合、それらのネットワークエディションはサポートされません。特に指定がない限り、アプリケーションサーバ（JDK を基礎とする）の 32 ビットバージョンのみを使用できます。

CABI リリース 3.3 SP2 の実行に対しては、UNIX または Linux のオペレーティングシステムを使用した CA Clarity PPM システム上のテスト、および SQL Server での設定が行われていません。そのような場合、別の Windows サーバ上で CABI リリース 3.3 SP2 を実行することを推奨します。

CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 -(SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7) サポートされている設定

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーションサーバ/JDK	CMS および監査データベース プロバイダ/データコネクタ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2012 R2 ■ Windows Server 2008 SP2 Standard Edition または Enterprise Edition (32 ビットおよび 64 ビット)^{1), 2)} ■ Windows Server 2008 R2 64 ビット^{1), 2)} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MS SQL Server 2008/ODBC SQL Native Client 10、MS SQL Server 2008 JDBC (Sqljdbc.jar 3.0) 、OLE DB SQL (Native Client) 10 ■ MS SQL Server/Microsoft JDBC 1.2 for SQL Server 2005、Microsoft ODBC SNAC (Native Client) 、Microsoft OLEDB SNAC (Native Client) ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。
Linux	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Server 5 (64 ビット)³⁾ ■ Red Hat Enterprise Server 6 (64 ビット)⁴⁾ ■ SUSE Enterprise Linux 10 Service Pack 2 (64 ビット) ■ SUSE Enterprise Linux 11 (64 ビット) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) 、JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2) 、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。
AIX	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX 6.1 (64 ビット)⁵⁾ ■ AIX 7.1 (64 ビット)⁶⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2) 、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーションサーバ/JDK	CMS および監査データベース プロバイダ/データコネクタ
HP-UX	サポートされません。		

メモ:

- ¹⁾ Business Objects は、リスト表示されているオペレーティングシステム用のすべての Microsoft クリティカルパッチのインストールをサポートおよび推奨します。
- ²⁾ Query as a WebService (QaaWs) を利用する場合は、.NET Framework 2.0 が必要です。
- ³⁾ Red Hat Enterprise Server 5 用の最小パッチ レベル: 最小のオペレーティングシステムのインストールと RHBA-2007 : 0619-3 が必要です
- ⁴⁾ RHEL 6 の最小パッチ要件: compat-libstdc++-33-3.2.3-69.el6.i686 (GCC 3.3.4 互換標準 C++ ライブラリ) 、 glibc-2.12-1 (RedHat アドバイザリ RHBA-2007:0619-3) 、 libXext.i386、 libncurses.so.5
- ⁵⁾ AIX 6.1 の最小パッチ要件: Technology Level 2 SP1、IBM C++ Runtime Environment Components for AIX => xlC.aix61.rte:10.1.0.0。
- ⁶⁾ AIX 7.1 の最小パッチ要件: Technology Level 7.1.0.0 / 7100-00-0000、IBM C++ Runtime Environment Components for AIX => xlC.aix61.rte:11.1.0.1。

付録 B: アクセシビリティ機能

CA Technologies は、すべてのお客様が弊社の製品およびサポートドキュメントを正しく使用してビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。アクセシビリティモードを有効にすると、支援を必要とするユーザー向けに、ユーザインターフェースのコントラストを最適化し、スクリーンリーダーをアシストします。

CA Clarity PPM のアクセシビリティ機能は、Mozilla Firefox 13 ブラウザおよび Job Access With Speech (JAWS) スクリーンリーダーと一緒に使用したときに最高の機能を発揮します。

CA Clarity PPM は、以下の領域において Windows ベースおよび Macintosh ベースの環境からアクセシビリティ拡張機能を継承します。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注: 以下のトピックの情報は、Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホストオペレーティングシステムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジがあります。これらの既存の支援テクノロジで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジ自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブオペレーティングシステムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Oracle では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [マウス \(P. 50\)](#)
- [キーボード \(P. 50\)](#)
- [音声 \(P. 51\)](#)
- [ユーザのアクセシビリティの設定 \(P. 52\)](#)
- [キーボードショートカット \(P. 53\)](#)
- [表示 \(P. 56\)](#)

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウスボタンのクリック速度を選択できます。

クリックロック

マウスボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下の操作を実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

スティックキー キー

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータサウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

音量

コンピュータサウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンドオプションやテキストを聞くことができます。

警告

警告を視覚的に表示します。

通知

アクセシビリティ機能が有効または無効になったときに、聴覚的または視覚的な合図を送ります。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステムイベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

ユーザのアクセシビリティの設定

ユーザのアクセシビリティを設定するには、以下の手順に従ってください。

以下の手順に従います。

1. [管理] を開き、[組織とアクセス] から [リソース] をクリックします。
2. リソースの名前をクリックします。
[プロパティ] ページが表示されます。
3. 適切な [アクセシビリティ] チェックボックスをオンにします。

スクリーンリーダー最適化 UI

スクリーンリーダーがよりよく機能を認識できるように、ユーザインターフェースが最適化されるかどうかを決定します。スクリーンリーダーを使用している視覚障害のあるすべてのユーザのために、このチェックボックスをオンにします。

既定値：オフ

ハイコントラストの色モード

色覚障害のあるユーザを補助する特別な UI テーマを使用するかどうかを決定します。選択すると、ユーザにはハイコントラストの UI テーマが表示されます。

既定値：オフ

4. 変更を保存します。
5. (オプション) [スクリーンリーダー最適化 UI] を選択した場合は、スクリーンリーダーソフトウェアがコンピュータ上で実行されていることを確認してください。
6. ユーザが CA Clarity PPM にログインすると、一旦ログアウトしてログインし直すよう指示されます。

キーボードショートカット

以下の表では、すべての CA Clarity PPM ページで利用可能な基本機能のキーボードショートカットについて説明します。

フィーチャー	キーの組み合わせ
ホーム メニュー	Ctrl+Alt+h
管理メニュー	Ctrl+Alt+a
お気に入りメニュー	Ctrl+Alt+f
戻る	Ctrl+Alt+b または Alt+ 左方向キー
ホーム ページ	Ctrl+Alt+Home
更新	Ctrl+Alt+F5
検索	Ctrl+Alt+s
履歴	Ctrl+Alt+v
ヘルプ	F1

CA Clarity キーボードショートカット(アクション)

以下の表では、CA Clarity PPM ページ上のアクションのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
フィールドエディタの有効化 (たとえば日付 Enter ピッカー等)	Enter	Alt+Enter
ポップアップを閉じる	Esc	Shift+Esc
タブ メニューを開く	Enter	Alt+Enter

キーボードショートカット

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
メニューで左、右、上、または下に移動	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー	Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー
ハイライトされたメニュー アイテムの選択	Enter	Alt+Enter
リスト ページのリンクを開く	Ctrl+Enter	
チェック ボックスのオン/オフ <small>注: チェック ボックスにフォーカスがある必要があります。</small>	スペース キー	
階層リストの展開 <small>注: 階層リストの + にフォーカスがある必要があります。</small>	スペース キー	

CA Clarity キーボードショートカット(リスト)

以下の表では、リストのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト内の編集と表示モード間の切り替え	表示、編集	Enter
リスト (グリッド) 内のセルからセルへの移動	表示	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー
リスト内の別のエリアへの移動： ポー 表示 トレットアイコン、列ヘッダ、リスト の本文、ボタン	表示	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
表示モードへの切り替え	編集	Esc または Enter
セル内での左または右への移動	編集	左方向キー 右方向キー

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
編集可能なセルから編集可能なセルへの移動	編集	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
行の最後に移動 注: TSV 行でのアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	編集	Ctrl+ 右方向キー
行の先頭に移動	編集	Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	表示、編集	Ctrl+Alt+ 上方向キー Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動 注: TSV セル内のアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	表示、編集	Ctrl+ 上方向キー Ctrl+ 下方向キー
ドロップダウンリストまたは日付セレクタを開く	編集	Enter
ドロップダウン内の選択項目を移動	編集	上方向キー 下方向キー
ドロップダウンまたは日付セレクタ内のハイライトされた値の選択	編集	Enter
日付セレクタ内の日付のハイライト	編集	下方向キー
長いテキストエリアでの新しいラインの追加	編集	Ctrl+Enter

期間単位値セルのキーボードショートカット

以下の表に、リスト内の期間単位値セルのキーボードショートカットを示します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
TSV 行の選択	Shift+Ctrl+ 右方向キー	
TSV 列の選択	Shift+Ctrl+ 下方向キー	

表示

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
現在のセルの左または右の単一セルの選択	Shift+ 右方向キー Shift+ 左方向キー	
現在のセルの上または下の單一行の選択	Shift+ 上方向キー Shift+ 下方向キー	
TSV セルのコピー	Ctrl+c	
TSV セルの貼り付け	Ctrl+v	
TSV セルの切り取り	Ctrl+x	
切り取り、コピー、または貼り付け 操作の取り消し	Ctrl+z	
Excel から TSV セルへのコピー	Ctrl+c および Ctrl+v	

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォントスタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

付録 C: サードパーティソフトウェアに関する通知

CA Clarity PPM で使用するサードパーティ製ユーティリティおよびソフトウェアのライセンス情報は、マニュアル選択メニューの [TXT の表示] リンクをクリックして、入手できます。